

環境経営レポート 2022年度

活動期間：2022年2月1日～2023年1月31日



2023年5月31日発行
三英電業株式会社

目次

1. 経営理念	1
2. 組織の概要	2
// (対象事業所一覽)	3
3. 環境マネジメントシステム組織図	4
// (役割・責任・権限)	5
4. 環境経営方針	6
5. 2022年度 環境経営目標・計画 (P)	7
6. 2022年度 環境経営目標・実施 (D)	8
7. 2022年度 環境活動実績 (D)	9
(1) CO ₂ 総排出量と売上金額 年度別比較	//
(2) 各所CO ₂ 排出量と使用量及び使用金額 2021年度比較	//
(3) CO ₂ 排出量内訳 年度削減実績	10
8. 環境活動の取組結果・評価 (C)	11
9. 環境関連法令順守状況及び評価結果 (C)	12
10. 環境・安全への取組み事例	13
11. 2023年度 全社における展開と目標 (A)	14
12. 代表者による活動全体の評価と改善 (C・A)	15
【添付資料】	
(CO ₂ 削減状況 代表例 3事業所)	
1-1. 東京支店 南部支社の取組み	16
1-2. 南関東支店 横浜支社の取組み	17
1-3. 北関東支店 埼玉支社の取組み	18
2-1. 各所の取組み	
(1) 環境活動・周辺環境への配慮	19
2-2. 各所の取組み	
(2) 事故及び緊急事態の想定及びその対応の実施	20
3. SDGs活動の取組み	21
※ P(プラン)：計画 ・ D(ドゥ)：実施 ・ C(チェック)：評価 ・ A(アクション)：改善	

1. 経営理念

三英電業株式会社は創業からの経営理念である

社是 「安全・技術・調和」

を礎に、総合電気工事・通信工事を中心に環境保全活動を推進しております。

環境への取り組みについて社内外へ明確にするため、2004年8月より環境マネジメントシステムを構築し、全社員で環境活動に取り組み、更に2005年7月より『エコアクション21』の認証を取得し、10年以上にわたり環境活動を展開してまいりました。

また2022年度「業務運営指針」において、「環境保全」を掲げ、環境に対応した企業運営の継続的改善を推進してまいります。

2. 組織の概要

商号 三英電業株式会社
所在地 〒141-8611
東京都品川区大崎1丁目19番20号
電話 03-3495-8111 (代表)
Fax 03-3495-8696
URL <http://www.sanei-denyo.com>
代表者 代表取締役社長 大場 雄介
資本金 9,600万円
創業 昭和19年1月
会社設立 昭和35年2月2日
売上高 213億円(2022年度)
従業員数 347名
延べ床面積 19,585㎡
事業活動 地中配電線・発電・変電・土木・内線・通信線、止水・ライニング工事、
電線管加工・電設資材配送



建設業許可 国土交通大臣許可

- ・特定建設業 国土交通大臣 許可(特-2)第4387号
許可の有効期限 令和2年6月27日~令和7年6月26日まで
許可を受けた建設業 電気工事業・土木工事業・とび・土工工事業・舗装工事業、
水道施設工事業
- ・一般建設業 国土交通大臣 許可(般-2)第4387号
許可の有効期限 令和2年6月27日~令和7年6月26日まで
許可を受けた建設業 電気通信工事業

エコアクション21 認証・登録番号 0000435

管理責任者 山崎 裕史

連絡責任者 野口 政春

対象事業所 別紙 事業所一覧に記載

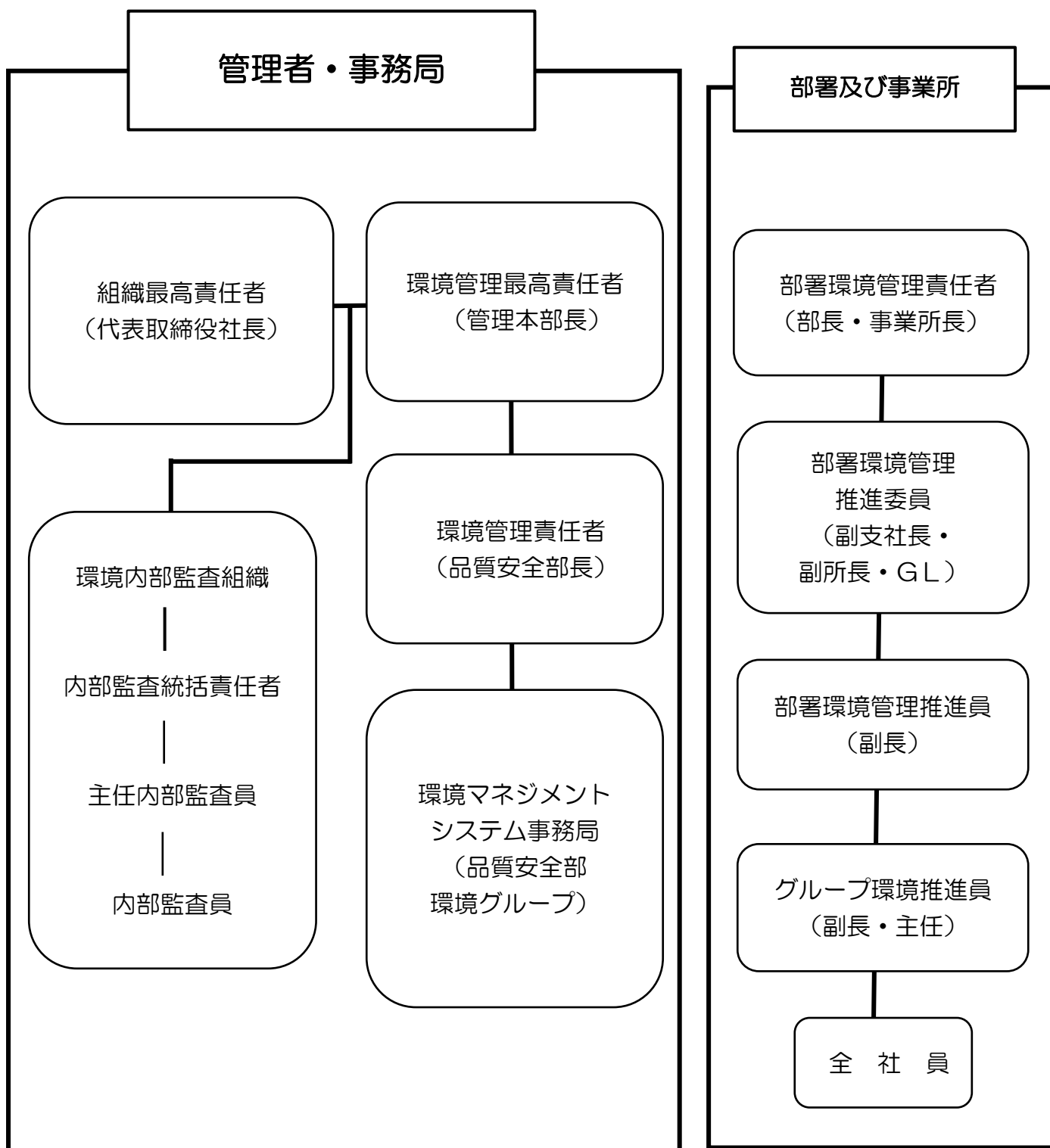
2. 組織の概要（対象事業所一覧）

- 本社 〒141-8611 東京都品川区大崎 1-19-20
TEL.03-3495-8111（代表） FAX.03-3495-8133
- ・管理本部：総務部・経理部・営業部・品質安全部
- ・電気事業本部：内線部・通信部
- ・電力事業本部：電力部
- ・ISO推進室

- 資材センター 〒340-0813
埼玉県八潮市木曾根 731-1
TEL.048-995-3551
FAX.048-996-8819

- 東京支店 〒141-8611 東京都品川区大崎 1-19-20
TEL. 03-3492-5969 FAX 03-3492-5997
- ・南部支社 〒140-0003 東京都品川区八潮 1-1-1
TEL. 03-3790-8125 FAX 03-3790-8126
- ・西部支社 〒120-0047 東京都足立区宮城 1-33-17
TEL 03-3912-8111 FAX. 03-3912-8115
- ・東部支社 〒132-0033 東京都江戸川区東小松川4-1-11
TEL. 03-3686-9148 FAX. 03-3686-6896
- 南関東支店 〒230-0047 神奈川県横浜市鶴見区下野谷町 3-98-1
TEL.045-501-8111 FAX.045-503-2121
- ・横浜支社 〒230-0047 神奈川県横浜市鶴見区下野谷町 3-98-1
TEL.045-501-8111 FAX.045-503-2121
- ・大和営業所 〒242-0018 神奈川県大和市深見西 1-1-8
TEL.046-262-8451 FAX.046-262-8460
- ・御殿場営業所 〒412-0042 静岡県御殿場市萩原 1433-8
TEL.0550-83-7161 FAX.0550-83-7211
- ・多摩支社 〒186-0011 東京都国立市谷保 5850-1
TEL.042-577-1415 FAX.042-576-0875
- ・山梨営業所 〒400-0043 山梨県甲府市国母 6-2-14
TEL.055-228-6981 FAX.055-228-6389
- 北関東支店 〒335-0031 埼玉県戸田市美女木北 1-5-1
TEL.048-422-1155 FAX.048-421-4578
- ・埼玉支社 〒335-0031 埼玉県戸田市美女木北 1-5-1
TEL.048-422-1155 FAX.048-421-4578
- ・栃木営業所 〒329-0205 栃木県小山市間々田 791-17
TEL.0285-45-8395 FAX.0285-45-5997
- ・群馬営業所 〒372-0801 群馬県伊勢崎市宮子町 3358
TEL.0270-23-5531 FAX.0270-26-6292
- ・千葉支社 〒263-0002 千葉県千葉市稲毛区山王町 418-1
TEL.043-423-7047 FAX.043-422-0861
- ・茨城営業所 〒319-0111 茨城県小美玉市中野谷 501-181
TEL.0299-49-1234 FAX.0299-49-1937

3. 環境マネジメントシステム組織図



3. 環境マネジメントシステム組織図（役割・責任・権限）

最高責任者及び環境管理最高責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の策定、見直し及び全従業員へ周知 ・環境マネジメントシステムの実施及び管理に必要な設備・費用・時間・人を用意 ・経営における課題とチャンスを確認にする ・環境管理責任者を指名 ・全体の評価と改定又は見直しを実施
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境マネジメントシステムを構築・運用する ・実施体制の構築（組織図及び役割・責任・権限） ・環境目標、環境活動実施計画書及び実績表の作成 ・環境経営レポートの発行 ・教育、訓練の実施を指示 ・環境上の緊急事態への準備、対応 ・環境活動の取組結果を環境管理最高責任者へ報告
環境マネジメントシステム事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・エコアクション21システムの推進（環境管理責任者の指示を受けて） ・環境への負荷及び取組チェックの実施 ・環境関連法規等の取りまとめ表作成と順守評価実施 ・環境経営レポート作成 ・環境関連文書、記録の管理 ・外部環境情報の窓口
各部及び事業所担当	
部署環境管理責任者 部署環境管理推進委員 部署環境管理推進員 グループ環境推進員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境目標及び環境活動計画の実施、確認、評価、達成状況の報告 ・実施上の問題点の是正、予防処置実施 ・環境活動におけるチェックリストの記録、運用管理 ・同上
全社員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針を理解し、環境への取組みの重要性を自覚 ・エコアクション21で決められた各自の役割を実施

環境内部監査組織

内部監査統括責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・内部監査の統括 ・監査結果の環境管理責任者への報告
主任内部監査員	<ul style="list-style-type: none"> ・内部監査統括責任者の補佐 ・年度内部監査実施計画に基づく監査の実施 ・内部監査の実施に関し発生した指摘事項の是正状況確認、及び内部監査統括責任者への報告
内部監査員	<ul style="list-style-type: none"> ・主任内部監査員の補佐 ・年度内部監査実施計画に基づく監査の実施 ・内部監査の実施に関し発生した指摘事項の是正状況確認及び主任内部監査員への報告

4. 環境経営方針

三英電業株式会社は、「安全・技術・調和」を社是に掲げ、持続可能な社会の実現に向け、環境に配慮した事業活動を通じ、継続した環境負荷低減に努めます。

法令を順守し、電気・通信という社会基盤を築く企業として、以下の環境活動方針を掲げ、全社を挙げて取り組めます。

環境活動方針

1. 環境に配慮した業務運営を図り、環境関連法規制や関係条例を順守します。
2. 事業活動で発生するエネルギー使用量の削減により二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 節水活動に取り組み水使用量の削減に努めます。
4. 業務効率の向上を図り、資機材の有効活用と再生利用に努めます。
5. 関係会社等と協働し、現場での環境を配慮した、持続可能な環境保全活動を推進します。
6. 環境保全活動に関する体制整備と情報公開に努めます。
7. 工事力を考慮した計画的な受注活動により、効率的な事業運営を心掛けます。

平成16年8月1日制定
令和4年2月1日改定
三英電業株式会社
代表取締役社長

大場 雄介

5. 2022年度<環境経営目標・計画（P）>

1. 環境関連法規制の順守

- ・社内外の業務について環境関連法規制や関係条例の順守。

2. 業務効率化の再点検、無駄の排除を行い二酸化炭素排出量削減（前年度実績以上の削減努力）

- ・各マネジメントシステムの効率化により無駄を減らし二酸化炭素排出量抑制。

3. 資機材の有効活用

- ・リユース率と端尺物の使用率向上。
- ・3R（リデュース・リユース・リサイクル）にリフューズ・リペアを加えた5Rの推進。

4. 社会との共存共栄を目指し、社会ルールの順守・外部環境変化への対応

- ・エコアクション21ガイドラインに則り、必要によりルール変更を行い関係箇所へ情報を提供。
- ・エコアクション21認証登録における中間審査の受審。

5. 社員の環境意識向上に向けた取組み

- ・関係行政主催による環境事業施設見学会への参加。

6. 2022年度＜環境経営目標・実施（D）＞

1. 環境関連法規制の順守

- ・各所関係者による環境法規制等順守チェックリスト作成及び関連法規制の確認とチェックの実施。

2. 業務効率化の再点検、無駄の排除を行い二酸化炭素排出量削減（前年度実績以上の削減努力）

- ・各所関係者による環境マネジメントプログラム作成及び定期的な管理により、二酸化炭素排出量抑制を推進する。

3. 資機材の有効活用

- ・自在割などの現場撤去材料の再生率を向上させる。
- ・一般及び産廃の分別を徹底し、3R（リデュース・リユース・リサイクル）を推進する。又、リフューズ・リペアによる資機材の有効活用を図る。

4. 社会との共存共栄を目指し、社会ルールの順守・外部環境変化への対応

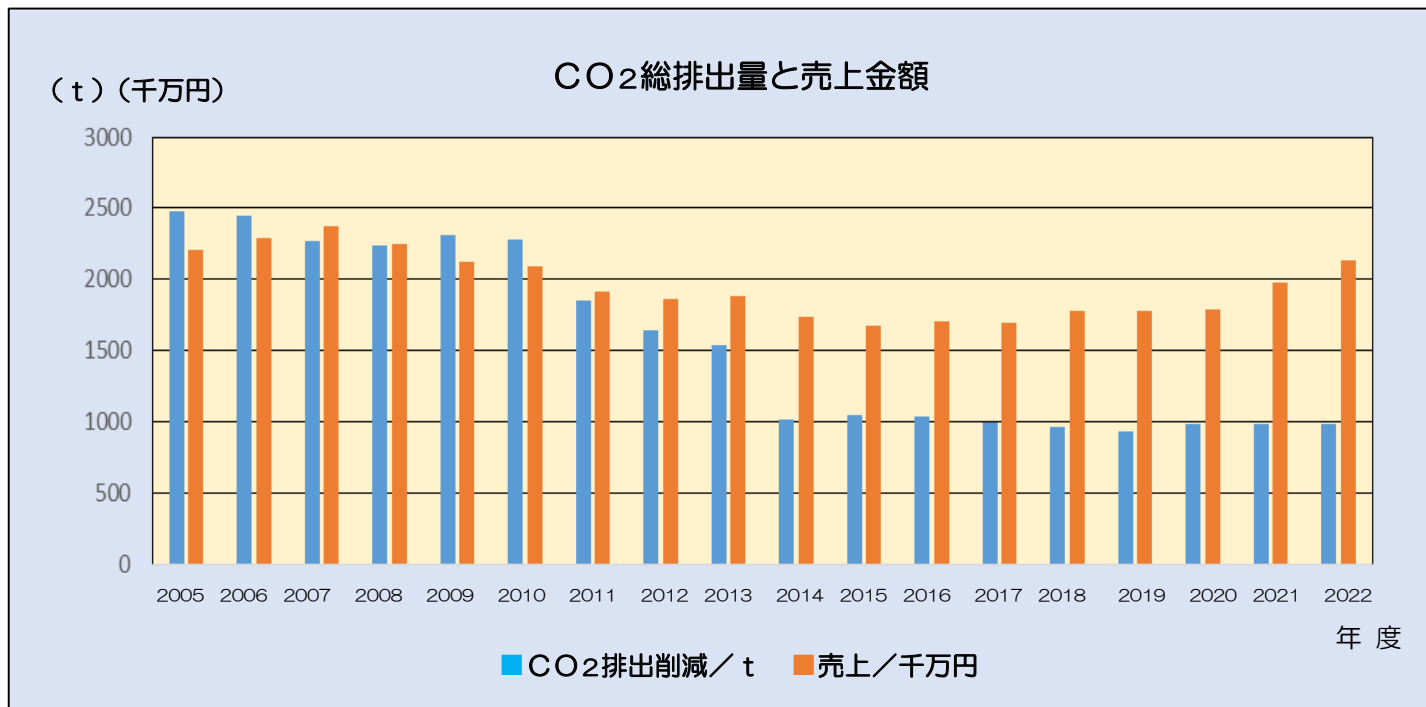
- ・エコアクション21ガイドラインに沿った社内関係マニュアル見直しを実施する。
- ・エコアクション21認証登録における中間審査受審に向けた各実施項目のチェック。

5. 社員の環境意識向上に向けた取組み

- ・若年層社員など対象に関係行政主催による環境事業施設見学会参加を実施する。

7. 2022年度 環境活動実績 (D)

(1) CO₂総排出量と売上金額 年度別比較



(2) 各所CO₂排出量と使用量及び使用金額 2021年度比較

2022年度 総合集計対比	電気			CO ₂ 2021年 対比(%)	都市ガス・プロパンガス				CO ₂ 2021年 対比(%)	燃料				CO ₂ 2021年 対比(%)	二酸化炭素換算 (電気・ガス・燃料)		金額合計(円)		
	使用量 (kWh)	CO ₂ (kg)	金額 (円)		使用量 都市ガス (m ³)	プロパン ガス(m ³)	CO ₂ (kg)	金額 (円)		使用量 ガソリン (L)	使用量 軽油(L)	使用量 灯油(L)	CO ₂ (kg)		金額 (円)	CO ₂ (kg)	2021年 対比(%)	金額合計 (円)	2021年度 金額 (円)
本社	288,464	127,212.6	9,466,034	102.8%	0.0	0.0	0.0	0	19,968.77	3217.98	—	5,475.70	2,907,920	103.8%	181,971.30	103.0%	12,373,954	9,672,125	127.9%
資材センター	54,459	24,016.4	1,738,251	90.7%	0.0	0.0	0.0	0	200.02	1,364.65	—	403.90	202,689	75.2%	28,055.80	88.1%	1,940,940	1,691,487	114.7%
研修所	79,122	34,892.8	3,135,402	98.4%	0.0	831.8	1,630.3	613,457	74.4%	232.93	0.00	—	540.40	68.8%	37,063.50	96.4%	3,785,732	3,338,611	113.4%
寮関係	0	0.0	0	—	0.0	0.0	0.0	0	—	0.00	—	—	0.00	—	0.00	—	0	0	—
本社計	422,045	186,121.8	14,339,687	100.1%	0.0	831.8	1,630.3	613,457	74.4%	20,401.72	4,582.63	0.00	5,933.50	100.8%	247,090.60	100.1%	18,100,636	14,702,223	123.1%
東京支店	29,607	13,056.7	971,153	105.0%	0.0	0.0	0.0	0	990.99	0.00	—	2,299.10	117,928	50.8%	15,355.80	90.8%	1,089,081	921,253	118.2%
南部支店	181,866	80,202.9	5,832,064	101.8%	0.0	0.0	0.0	0	16,526.23	2,747.76	—	4,554.00	2,241,397	96.9%	125,742.90	99.8%	8,073,461	6,548,414	123.3%
西部支店	98,108	43,265.6	3,077,202	104.7%	770.0	0.0	1,509.2	151,301	91.5%	11,366.00	5,297.20	—	4,024.80	118.8%	85,022.60	110.8%	5,110,777	3,948,394	129.4%
東部支店	46,800	20,638.8	1,988,673	119.0%	0.0	251.7	493.3	108,393	112.0%	11,841.89	4,754.22	—	3,992.20	99.4%	61,061.30	105.8%	3,981,673	3,477,486	114.5%
東京支店計	356,381	157,164.0	11,869,092	104.8%	770.0	251.7	2,002.5	259,694	95.8%	40,725.11	12,799.18	0.00	12,801.60	102.0%	287,182.60	103.4%	18,254,992	14,895,547	122.6%
南関東支店・横浜支社	79,674	35,136.2	2,539,399	98.1%	287.0	0.0	562.5	56,106	74.2%	9,840.82	1,902.96	—	2,781.60	95.4%	63,515.20	96.8%	3,956,859	3,479,201	113.7%
御殿場営業所	17,992	7,934.5	1,364,575	100.0%	0.0	99.6	195.2	105,308	77.8%	6,719.44	7,700.77	—	3,576.10	109.2%	43,894.80	107.4%	3,039,573	2,310,330	131.6%
大和営業所	44,423	19,590.5	1,866,212	98.3%	0.0	0.0	0.0	0	8105.67	1,186.21	—	2,191.30	1,083,932	90.8%	41,503.50	93.3%	2,950,144	2,816,659	104.7%
多摩支店	48,444	21,363.8	1,982,692	105.5%	0.0	172.6	338.3	161,022	100.3%	8,954.08	1,405.57	—	2,445.60	91.5%	46,158.20	97.5%	3,349,807	2,974,178	112.6%
山梨営業所	14,418	6,358.3	767,036	115.7%	0.0	0.1	0.2	26,785	50.0%	3,149.47	4,899.36	—	2,037.80	105.3%	26,737.10	107.8%	1,835,149	1,895,884	96.8%
南関東支店計	204,951	90,383.4	8,519,914	100.8%	287.0	272.3	1,096.2	349,221	81.4%	36,769.48	17,094.87	0.00	13,032.90	98.7%	221,808.80	99.3%	15,131,532	13,476,252	112.3%
北関東支店・埼玉支社	61,371	27,064.6	1,967,974	104.6%	0.0	85.1	166.8	55,717	76.2%	1,093.60	3,751.26	—	3,520.10	122.3%	62,433.10	113.7%	3,700,296	2,824,585	131.0%
栃木営業所	38,421	16,943.7	1,446,297	95%	0.0	0.0	0.0	0	6,910.37	2,098.30	—	2,152.60	1,032,164	87.2%	38,473.30	90.7%	2,478,461	2,305,887	107.5%
群馬営業所	24,802	10,937.7	1,152,254	102.7%	0.0	19.5	38.2	34,309	103.8%	2,682.05	4,387.82	—	1,771.80	84.1%	28,694.30	90.3%	1,944,085	1,859,768	104.5%
千葉支店	38,635	17,038.0	1,804,379	94.5%	0.0	111.0	217.8	67,318	92.6%	10,183.49	8,866.78	—	4,685.70	94.8%	64,112.50	94.7%	3,970,210	3,694,284	107.5%
茨城営業所	21,272	9,381.0	955,520	99.3%	0.0	43.3	84.9	24,598	126.0%	8,825.99	4,067.09	—	3,113.20	92.9%	40,598.00	94.4%	2,437,120	2,354,466	103.5%
北関東支店計	184,501	81,364.9	7,126,424	99.5%	0.0	258.9	507.4	181,942	90.9%	39,538.70	23,171.25	—	15,243.50	96.8%	234,311.20	97.7%	14,330,172	13,038,990	109.9%
全社大合計	1,167,878	515,034.2	41,855,127	101.5%	1,057.0	1,614.7	5,236.5	1,404,314	84.6%	137,435.01	57,647.93	0.00	47,122.30	99.2%	990,393.20	100.3%	65,817,332	56,113,012	117.3%
		2021年年度対比金額	10,728,838					2021年年度対比金額	40,743				2021年年度対比金額	983,872	2021年年度対比削減(%)	0.3	2021年年度対比金額	9,704,320	

枠内の数値及び色表記		枠外の数値及び色表記	
数値	: CO ₂ 増加又は廃棄量・使用量の増加	赤字	: 金額増加(2021年度対比)
数値	: CO ₂ 減少又は廃棄量・使用量の減少	黒数字	: 金額減少(2021年度対比)
		赤字	: CO ₂ 増加数値(2021年度対比率(%))

(3) CO₂排出量内訳 年度削減実績

		単位	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度		2021年度実績対比(%)			2022年度目標対比(%)		2023年度 単年度目標値	2023年度 中期年度目標値	
					目標値	実績値	増減	前年比	増減	達成率				
温室効果ガス排出量 (二酸化炭素)	電気	CO ₂ kg	431,874	507,496	502,421	515,034	7,538	101.4	×	12,613	97.6	▲	509,884	418,918
	ガス		6,695	6,189	6,128	5,237	-952	84.6	◎	-891	117.0	◎	5,185	6,494
	燃料(車両など)		475,271	474,005	469,266	470,122	-3,883	99.1	○	856	99.8	▲	465,421	461,013
	合計		913,839	987,691	977,813	990,393	2,702	100.3	△	12,580	98.7	▲	980,489	886,424
廃棄物等排出量	一般廃棄物	t	22	20	20	22	2	110.0	×	2	90.9	▲	21	21
	汚泥	t	475	1,838	1,820	2,625	787	142.8	×	805	69.3	×	2,599	461
	コンクリート	t	4,735	12,762	12,634	6,193	-6,569	48.5	◎	-6,441	204.0	◎	6,131	4,593
	アスファルト・ コンクリート	t	1,035,234	29,389	29,095	44,531	15,142	151.5	×	15,496	65.3	×	44,086	1,004,177
化学物質使用量	有機溶剤	kg	48	28	-	21	7.0	-	-	-	-	-	-	
水使用量	上水道	m ³	9,977	10,472	10,367	10,344	-128	98.7	○	-23	100.2	○	10,241	9,678
紙使用量	コピー用紙	枚	1,809,000	1,729,000	1,711,710	1,658,200	-70,800	95.9	○	-53,510	103.2	◎	1,641,618	1,754,730

- ※ 前年比：◎は90%未満 ○は90~100%未満 ▲は100~101%未満 ×は101%以上
- ※ 達成率：×は90%未満 ▲は90~100%未満 ○は100~101%未満 ◎は101%以上
- ※ 電気のCO₂排出係数は、東京電力 2020年度 0.441kg-CO₂/kWhを使用。

【実施内容】

- ・CO₂削減目標に対し、事務所内空調機常時使用や手洗い・うがいの実施など、コロナ拡散防止対策の影響もあり、目標値に対し1.3%増で未達成となった。又、前年度実績に対しても0.3%増で未達成となった。
- ・汚泥、アスファルト・コンクリートについては、前年度より業務量増大が、大きな影響になり未達成。
- ・汚泥(路面切断カッター施工時に発生する濁水)については、処理業者にて脱水処理(乾燥・脱水)後にリサイクル材(コンクリート材・骨材・ブロック等)として再生されている。又、コンクリート、アスファルト・コンクリートなどの主要資材についても、処理業者にて再生され循環資源として利用されている。

【参考】

- ・CO₂削減に向け、単年度目標「前年度比 1.0%以上削減」に設定。2021年度から2023年度の中期年度目標設定し、到達目標は「2020年度比3.0%以上削減」、又、2021年度から2025年度の長期年度目標を設定し、到達目標は「2020年度比5.0%以上削減」としている。

8. 環境活動の取組結果・評価（C）

1. 環境関連法規制の順守

- 法令違反等の発生及び苦情の事例は無かった。

2. 事業活動で発生するエネルギー使用量の削減

- 業務量が増加したが、二酸化炭素排出量は、削減目標に対し1.3%増加に抑えた。排出金額については、2021年度比 約1,000万円増加した。

3. 資機材の有効活用

- ①各所ごとの業務量も関係するが、滞留在庫削減につながった。
- ②各所における積極的な構内整理などにより、今年度は一般・産廃とも前年度排出量を上回った。

4. 社会との共存共栄

- ①「環境マネジメントシステム運営管理マニュアル」の見直しを実施した。（2月より運用開始）
- ②6月に中間審査を受審し、重大な指摘事項等なく、認証・登録を継続した。

5. 社員の環境意識向上に向けた取組み

- 今年度は、国土交通省施設見学会と東京都環境公社の施設見学会に5回（17名）参加し、各社員の環境意識向上に役立てた。

山梨営業所：省エネ活動の実施



省エネ・ペーパーレスの注意喚起
ポスター掲示状況

社員環境意識向上の取組み



社外環境施設見学会参加状況
（国土交通省 首都圏外郭放水路見学会）

9. 環境関連法令等順守状況及び評価結果（C）

	法規制等の名称	適用内容・順守事項	違反の有無	今年度順守状況	次年度取組み
廃棄物処理	廃棄物処理法	<ul style="list-style-type: none"> 収集運搬業者及び処分業者との委託契約締結 委託契約書の保管 マニフェストB2、D、Eの返還確認（5年間保管） 	無	良	継続
	資源有効利用促進法	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物の利用（リユース・リサイクル・サーマルリサイクル） 	無	良	継続
	建設リサイクル法	<ul style="list-style-type: none"> 発注者への計画等説明と完了報告 分別解体 再生資源等の促進 再生資源の利用 	無	良	継続
	家電リサイクル法	<ul style="list-style-type: none"> 家庭用エアコン、テレビ、冷蔵庫、洗濯機、乾燥機等の廃棄時の適正管理 	無	良	継続
	グリーン購入法	<ul style="list-style-type: none"> 環境物品等の購入に努める 環境物品等に関する情報の提供 	無	良	継続
騒音振動	騒音規制法 振動規制法	<ul style="list-style-type: none"> 特定建設作業の実施の届出 規制の順守 作業敷地境界にて85デシベル以下 	無	良	継続
大気	オフロード法	<ul style="list-style-type: none"> 排出ガスの規制について 	無	良	継続
	フロン排出抑制法	<ul style="list-style-type: none"> 第一種特定製品の管理者点検の実施 	無	良	継続
水質	水質汚濁防止法	<ul style="list-style-type: none"> 舗装の切断作業時に発生する排水の処理・産業廃棄物として処理（濁水・汚泥） 	無	良	継続
	浄化槽法	<ul style="list-style-type: none"> 浄化槽の適正管理（10条：清掃（年1回）・11条：法定点検） 	無	良	継続
化学物質 労働安全	労働安全衛生法	<ul style="list-style-type: none"> 有機溶剤、化学物質の取扱い順守（MSDSの適切な運用） 車両系建設機械の定期的な検査の実施、記録 安全管理者、衛生管理者の選任、届出 安全衛生教育の実施、記録 	無	良	継続
	消防法	<ul style="list-style-type: none"> 少量危険物の貯蔵・取扱管理記録 消火設備の配置 	無 無	良 良	継続 継続
工事 作業関連	建設工事公衆災害防止 対策要綱	<ul style="list-style-type: none"> 付近居住者等への周知 埋設物の確認、土留工の管理 排水処理、地盤沈下等の処理 塵芥（じんかい）、騒音防止の措置 	無	良	継続
	道路交通法	<ul style="list-style-type: none"> 道路において工事をする際は、道路使用許可を得る 道路交通法の順守 車両の定期点検整備の実施 	無	良	継続
地球温暖化 対策	地球温暖化対策の推進 に関する法律（温対 法）	<ul style="list-style-type: none"> 国、地方自治体、事業者、国民が一体となり温室効果ガスの排出規制に努め、国、地方公共団体の施策に協力する 	無	良	継続
	東京都の環境確保条例	<ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化対策報告書制度（東京都環境局へ地球温暖化対策報告書を提出（毎年度）） 	—	良	継続
各自治体条例 等	各事業所に適用される条例 等	<ul style="list-style-type: none"> 各事業所とも順守している 	無	良	継続

- ・当社に適用される主な環境関連法規制等の順守状況を確認した結果、法令に関する違反無し。
- ・環境に関連する苦情は無し。
- ・2005年エコアクション21認証登録以降、関係行政からの指摘、利害関係者からの訴訟等
は無し。

資材センター：法令順守状況
実施状況



作業時発生騒音測定実施

御殿場営業所：法令順守実施状況



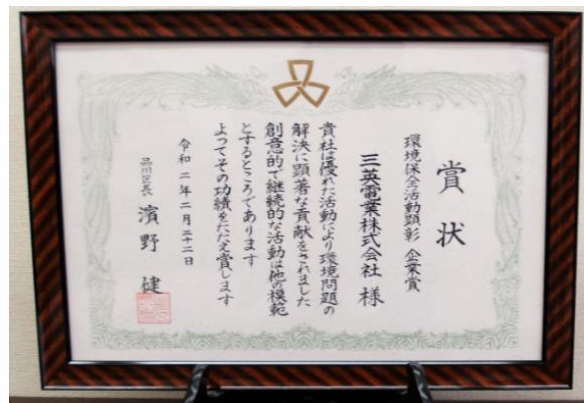
路面カッター 濁水清掃実施

10. 環境・安全への取組み事例

- ・エコアクション21中央事務局より、エコアクション21認証・登録を10年にわたり継続した環境活動が評価され、感謝状をいただきました。
(2015年10月)



- ・品川区より「環境保全活動顕彰」の企業賞をいただきました。
(2020年2月)



- ・2022年度は全社大による省エネ活動の推進により、電気、ガス、燃料（車両）等の使用量（CO₂排出量）削減に努めています。
- ・業務車両による環境影響を下げる観点から、低排出ガス車両導入及び車両の小型化を2000年度より推進しています。
- ・廃棄物の更なる有価物化と再生利用を推進しております。
- ・各所においては、緊急連絡体制を整備し業務に関わる事故・災害及び非常災害時に備え、常時対応可能としています。
- ・社員、協力会社参加による「安全衛生大会」及び工事に関わる事故・災害などの防止を目的とした「基本動作反復訓練」を毎年度、実施しています。



「安全衛生大会」の開催



「基本動作反復訓練」の実施



11. 2023年度 全社における展開と目標（A）

1. 環境関連法規制の順守

- ・該当法令に関する定期的な確認及びチェックリストを作成する。

2. 事業活動で発生するエネルギー（二酸化炭素）使用量の削減

- ①環境マネジメントシステムの継続的改善及び業務量を見越した環境マネジメントプログラム目標値を設定する。
- ②N・H・K（なくす・へらす・かえる(変える・換える・替える)）による業務効率を向上する。
- ③電子媒体を活用し、情報共有化を推進する。

3. 資機材の有効活用

- ・3R（リデュース・リユース・リサイクル）にリフューズ・リペアを加えた5Rを推進する。

4. 社会との共存共栄

- ①当社マニュアルを業務実態に合わせ、且つ、エコアクション21ガイドライン要求事項を満たした内容へ改定を行う。
- ②内部監査の計画実施。
- ③今年度はエコアクション21認証・登録の更新審査を受審する。（6月実施予定）

5. 社員環境意識の向上

- ①関係行政主催の環境施設見学会に参加する。
- ②「環境経営レポート 2022年度」版を発行する。

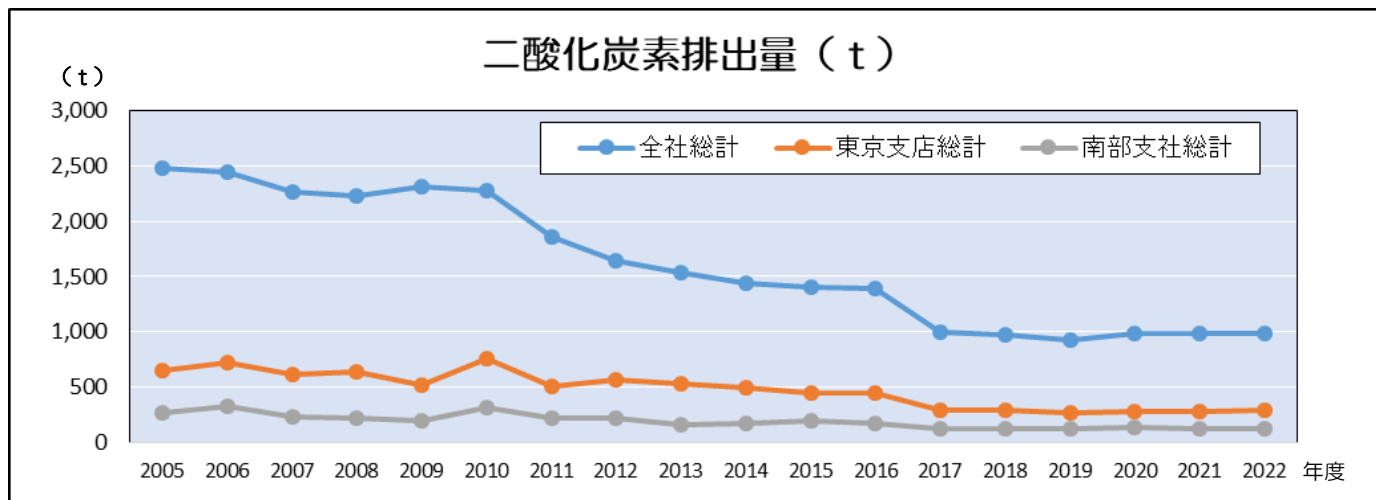
12. 代表者による活動全体の評価と改善（C・A）

- 2022年度は、前年度比でCO₂排出量は0.3%増加となりました。業務量が増加している中、コロナ拡散防止対策もあり何かと大変かと思いますが、2023年度も引き続き年度目標であるCO₂排出量「前年度比1.0%以上削減」達成に向けて、各所におけるエコアクション21活動の推進をお願いいたします。
- 2023年度は、当社エコアクション21活動における2021年度から2025年度の5ヶ年「中長期計画」の3年目にあたる中期計画年度です。「2020年度比3.0%以上削減」を目標としています。また、「環境経営方針」・「環境経営目標及び計画」・「実施体制」を継続し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。環境に配慮した事業活動を目指し、全社一丸となり環境マネジメントシステムに則った環境活動を進めてください。
- 依然としてコロナ禍にあり、社会的にも不安感がありますが、公共事業を担う一企業として、今後も法令順守、資源の有効利用、環境保全に貢献する企業運営への協力をお願いいたします。

2023年 3月

大場 雄介

＜東京支店 南部支社の取り組み＞



※2022年度は、前年度実績値以下を目標として活動し、コロナ禍における厳しい業務状況の中、前年度実績値わずかに削減の結果となりました。所内での省エネ活動を推進し、今年度も引き続き前年度実績数値以下を目標として活動いたします。

※汚泥（路面切断カッター施工時に発生する濁水）については、処理業者にて脱水処理（乾燥・脱水）後に リサイクル材（コンクリート材・骨材・ブロック等）として再生されています。又、コンクリート、アスファルト・コンクリートなどの主要資材についても処理業者にて再生され循環資源として利用されています。

※自社に適用される主な環境関連法規制等の順守状況を確認した結果、法令に関する違反はありません。

東京支店 南部支社：環境活動取り組み実施状況

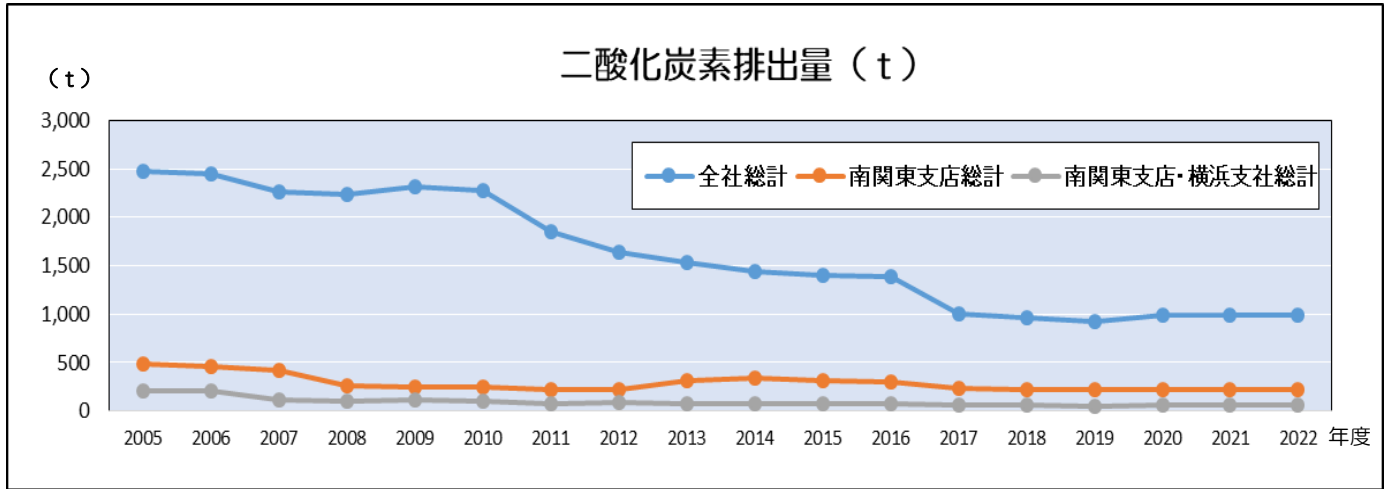


社員の環境教育の実施



事業所周辺の地域清掃実施状況

＜南関東支店 横浜支社の取り組み＞



※2022年度は、前年度実績比以上削減を目標として活動し、コロナ禍における厳しい業務状況の中、前年度実績値以上の削減結果となりました。今年度も省エネ活動を推進し、引き続き前年度実績数値以下を目標として活動いたします。

※汚泥（路面切断カッター施工時に発生する濁水）については、処理業者にて脱水処理（乾燥・脱水）後に リサイクル材（コンクリート材・骨材・ブロック等）として再生されています。又、コンクリート、アスファルト・コンクリートなどの主要資材についても処理業者にて再生され循環資源として利用されています。

※自社に適用される主な環境関連法規制等の順守状況を確認した結果、法令に関する違反はありません。

南関東支店 横浜支社：環境活動取り組み実施状況

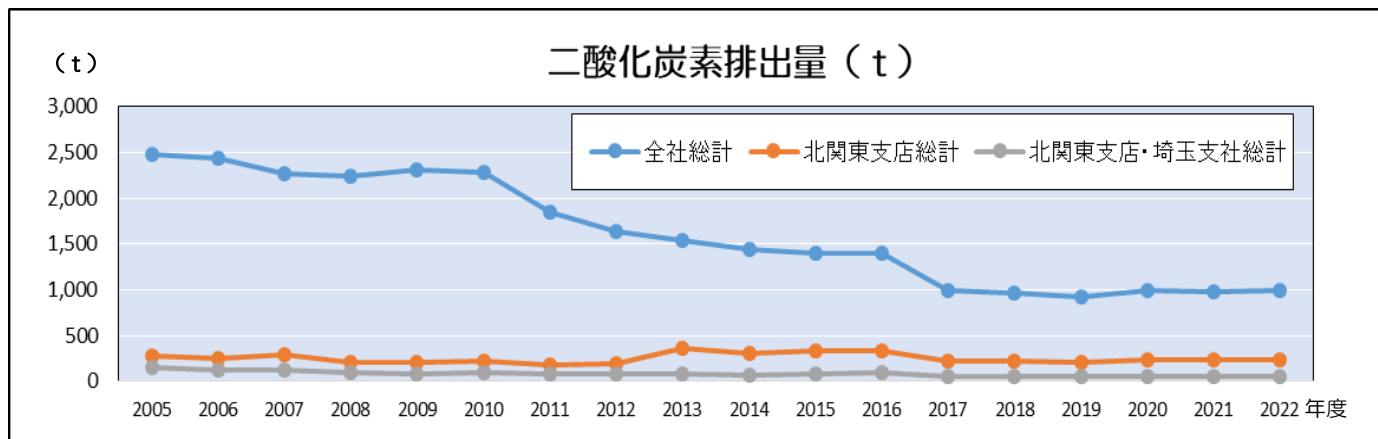


非常災害対策訓練の実施



事業所周辺の地域清掃の実施

＜北関東支店 埼玉支社の取り組み＞



※2022年度は、前年度数値以下を目標として活動しましたが、コロナ禍における厳しい業務状況もあり、削減目標値未達成となりました。今年度も業務に支障のない範囲で、引き続き省エネ活動を推進いたします。

※汚泥（路面切断カッター施工時に発生する濁水）については、処理業者にて脱水処理（乾燥・脱水）後にリサイクル材（コンクリート材・骨材・ブロック等）として再生されています。又、コンクリート、アスファルト・コンクリートなどの主要資材についても処理業者にて再生され循環資源として利用されています。

※自社に適用される主な環境関連法規制等の順守状況を確認した結果、法令に関する違反はありません。

北関東支店 埼玉支社：環境活動取り組み実施状況



社員の環境教育実施状況



事業所周辺の地域清掃実施状況

<各所の取り組み>

(1) 環境活動・周辺環境への配慮



社名入りジャンパー：地域清掃時などに着用



西部支社：地域清掃の実施



大和営業所：周囲への環境配慮状況



埼玉支社：産業廃棄物飛散防止対策

＜各所の取り組み＞

(2) 事故及び緊急事態の想定及びその対応訓練の実施



本社：非常災害対策訓練の実施



夏期 基本動作反復訓練の実施



冬期 基本動作反復訓練の実施

<SDGs活動の取り組み>

当社のSDGs活動は、「環境経営方針」に基づき持続可能な社会の実現に向け、環境等に配慮した、さまざまな取り組みを行っています。

SDGsとは

SDGs(エスディージーズ：持続可能な開発目標)は、「誰一人取り残さない(leave no one behind) 持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。2015年の国連サミットにおいて全ての加盟国が合意した「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中で掲げられました。社会で抱える問題を解決し、世界全体で2030年を達成を目指して明るい未来を作るため、17の目標と169のターゲットから構成されています。

17の目標

1 貧困 あらゆる場所あらゆる形態の貧困を終わらせる	2 飢餓 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養の改善を実現し、持続可能な農業を推進する
3 質の高い健康と福祉 あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する	4 質の高い教育 すべての人々に包摂的かつ公平な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する
5 ジェンダー平等 ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女性のエンパワーメントを行う	6 水と衛生 すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する
7 エネルギー すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する	8 経済成長と雇用 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を推進する
9 産業・実業の革新 強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の推進及びイノベーションの推進を図る	10 国内及び国際的な公平 国内及び国際的な不平等を是正する
11 持続可能な都市 包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現	12 持続可能な消費と生産 持続可能な消費生産形態を確保する
13 気候変動 包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現	14 海洋資源 持続可能な開発のために、海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する
15 陸上生態系 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対応、淡水生態系の回復、気候変動及び生物多様性の損失防止を阻む	16 平和 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを確保し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する
17 パートナーシップ 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する	

※目標(赤字)は環境に関係する内容です

三英電業株式会社 SDGs活動(取り組み)

環境

CO₂削減で地球温暖化対策を行います
定期的な数値目標管理により、事業活動で発生するCO₂の削減に努め、地球温暖化を少しでも食い止めたと思います

【具体的な取り組み】

- 電気・ガスなど、事業所エネルギーの省力化
- 業務車両の効率的な稼働による車両燃料の抑制
- 事業において、発生する水使用の節水

【関連するSDGs】

7 7. 安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する
13 13. 気候変動に具体的な対策を
14 14. 海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する
16 16. 平和と公正な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを確保し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する

3R(リデュース、リユース、リサイクル)活動を通じて循環型社会を目指します
資機材の有効活用と再利用の3R(リデュース、リユース、リサイクル)を推進し、枯渇する資源の使用量削減につながり、CO₂削減などの環境問題の解決に貢献できます

【具体的な取り組み】

- 廃棄物分別化による廃棄物削減
- 不用品のリサイクル
- 修理に伴う廃棄物のリサイクル
- 事業において、発生するコンクリート・アスファルト・コンクリート・コンクリート・コンクリートの再生利用

【関連するSDGs】

7 7. 安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する
8 8. 持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を推進する
11 11. 持続可能な都市及び人間居住を実現する
12 12. 持続可能な消費と生産形態を確保する
13 13. 気候変動に具体的な対策を

社会

関係会社等と協働し、現場での環境を配慮した環境保全活動を推進します

【具体的な取り組み】

- 当社環境活動の周知
- 安全会議等による情報の共有化
- 教育制度の充実

【関連するSDGs】

4 4. 質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する
8 8. 持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を推進する
17 17. パートナーシップを強化する

ガバナンス

企業理念に基づいた公正かつ健全な企業経営を通じて、全てのステークホルダーに価値を提供し、綴ります
ステークホルダーに信頼され、選ばれる企業集団の確立を目指し、公正で透明性の高い健全な経営を継続し、綴ります

【具体的な取り組み】

- 環境法規制や関係条例等の遵守
- 反社会的勢力への対応
- リスクマネジメント
- コンプライアンス教育
- 社内通報制度

【関連するSDGs】

11 11. 持続可能な都市及び人間居住を実現する
16 16. 平和と公正な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを確保し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する